



ほろのべ

北緯45度のまち

# 議会だより

## 第74号

発行 北海道幌延町議会  
編集 議会報発行特別委員会  
電話 01632-5-1111  
FAX 01632-5-2971

### 第5回 幌延町議会 定例会

9月11日  
～9月12日

おもな内容	風力発電・補正予算	2
	平成24年度決算審査	3～4
	産業厚生常任委員会	4
	特別会計質疑・幌延福祉会との懇談会	5
	一般質問	6
	総務文教常任委員会	7

幌延町議会定例会が9月11日～12日まで開催され、幌延風力発電株式会社経営報告など報告4件、認定7件、同意1件、補正予算など議案4件が審議された。  
平成24年度各会計の決算認定7件は特別委員会に付託され、委員長に西澤裕之氏を選出し、慎重に審査された。議決案件15件をすべて原案通り承認し、閉会した。

### 風力発電経営報告

オトンルイ風力発電所は、設立以来13年目を迎えたが耐用年数は17年と言われている。年数からいけばあと4年で耐用年数が来るが5年に一回ずつの大規模なメンテナンスを行っている。長寿命化をねらっているが、風力発電を取り巻く環境にに応じて耐用年数を検討して行く事になるだろう。

#### 売電単価上げる！

平成24年7月から施行された再生可能エネルギー特別措置法の設備認定を受け、平成24年12月から平成35年8月までキロワット当たり19円35銭で売電出来ることとなった。(現在のキロワット単価は8円46銭である)  
**総資産はいくらか！**  
期末時点の総資産額は16億9千万円。内、流動資産が7億8千2百43万円、固定資産が9億8百58万円となっており、総資産は前期に比べて9百万円増加している。

### 営業収益はどうか！

平成24年の売電収入は5億3千7百22万2千円で、売電電力量は4万2千9百99メガワットだった。

#### 町に入る税金は！

平成24年度の固定資産税は1千9百94万5千円となっている。

**問** 苫前町で、風車の落下事故が発生しているが浜里の風車はどの様に対処しているのか。

**答** 当風力発電では4月中旬に点検を行なっている。超音波試験と打音試験を行なった結果18号基に亀裂が見つかったがそれ以外の27基は異常は無かった。

### 一般会計補正予算

一般会計の補正については歳入歳出それぞれ2億2千2百5万7千円を追加し予算総額を4億1千9百53万9千円にしようとするものである。その内訳の主なものは自治体ネットワーク用パソコンの更新経費、職員住宅整備事業の実施設計経費、災害などに対応する財源確保のための備荒資金組合の負担金等がある。

**問** 教育費のむし歯予防事業に関して、24年度から中学生以下医療費無料になったが、改めてここにむし歯予防事業として載せた理由は。

**答** 今回やろうとしているのは、学校におけるフッ化物洗口によるむし歯予防。北海道は他府県に比べ、むし歯が多いという事でこれを何とか予防しようとするものである。



# 平成24年度 決算総額 54億7557万4千円を認定

西澤裕之氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案通り認定。

一般会計・特別会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑応答について掲載しています。

## 一般会計

### ◆歳出

#### 〔総務費〕

(植村委員) まちづくり事業研修は終了だったか。

(古草主査) 23年度からの3年間で11月にはまとめた成果を出せるかと思ってる。

(植村委員) 集会施設の管理費・経費の節減とは？

(角山主査) プロパンガスを小型化とし、屋内設置に替えて固定費を節減。

(斉賀委員) 町賃貸住宅改修事業の成果は。

(山下主査) 17年経過したので外からの湿気を防ぎ、落雪しやすく葺き替え。雪印工場に研修に来られる方達のために提供する必要性がある。

(鷺見委員) エネルギー関連施設見学会参加者の選考基準と参加状況は。

(角山主査) 基本的には、参加したことのない児童生徒や、次年度以降参加チャンスが少くなる方を優先してきた。

#### 〔衛生費〕

(佐々木委員) 旧サロベツ清掃組合に今なぜ修繕費が発生するのか。

(伊藤主幹) 私有地に建てたモニタリング坑の改修費。

(植村委員) 我が町での子宮頸がん予防接種の状況は。

(細野所長) 25年度対象者は中学一年7名、中学二年1名だったが、接種後の弊害報道前後に計2名接種。本町では重篤な被害報告はない。

#### 〔農林水産業費〕

(斉賀委員) 有害鳥獣駆除対策の実績は。

(桜井主幹) 鹿419頭、キツネ39頭。アライグマは59頭。

#### 〔消防費〕

(鷺見委員) 耐震診断、耐震改修の補助制度はリフォームとセットにしなければ進まないのでは。

(宮本町長) 耐震もバリアフリーも利用者がなかった。リフォームもセットになると、補助率の問題もあ

り今後考える。

#### 〔教育費〕

(植村委員) スキー場圧雪車の状況は？

(大村主幹) 新車で購入した圧雪車は、耐用年数10年のところ20年経過し、運行時間は4千791時間。部品の供給問題もあり、今後検討する。

### ◆歳入

(斉賀委員) 町税等の最終的な収納率と滞納件数、不能欠損額の出た理由は？

(飯田会計課長) 町税の収納率は町民税で%・3%、固定資産税98%、軽自動車税96・8%、たばこ税100%で町税全体で97・5%の収納率。滞納件数は105件で総額2千2百28万8千円となっている。

(伊藤主査) 不能欠損の件数は2件で、内容は地方税法の規定による生活困窮による施行停止で3年を経過したため不能欠損処理した。その総額は町民税、国民健康保険税の合計24万6千5百87円。  
(無量谷委員) 町税の収納

対策についての考え方を伺いたい。

(西尾副町長) 職員による町税対策推進本部を立ち上げ、情報と課題を共有し、それぞれの部署が連携・協力して収納対策を実施している。対象者の補助金などは行政サービス制限条例に基づいて支出の制限をしている。

### ◆総括

(吉原委員) 衛生費での予防事業に癌の早期発見を目的としたPET検査を加えてはどうか。

(宮本町長) 町は今、癌検の関係では6種類の検診を行っている。北海道で3ヶ所しかないPET検査はまだ料金も高く、保険適用外なので、今後の自治体などの状況も含めて調べて行きたい。

(鷺見委員) 最近繰越金額が非常に高額になっている。町としての考え方を伺いたい。  
(飯田会計課長) 平成23年度1億7千7百万円、平成24年度2億2千万円と繰越額が大きくなっている。

町は道路事業などに多くの過疎・辺地債の申請を出しており、特別交付税などの留保をしているなど、予算編成時に堅く見積もっている。今後は予算を整理し繰越金額を減らしていきたい。

**(植村委員)** 公債費で、非常に高い利率の借入資金が残っている。繰上げ償還はできないのか。

**(山下主査)** 相当昔の高利率の地方債が残っており、国の融資計画に狂いが生じるため通常では繰上げ償還出来ない。

しかしながら一部のものは借換債で低利なものに借り換える手段はとって来ている。

**(斉賀委員)** 現在、農村・市街地区を問わず单身男性が多くいる。北部5町の单身者が異性と出会う場を各町の首長と連携を取りながら自治体として応援することが出来ないか。

**(宮本町長)** 花嫁対策は各町村でも共通した問題点だと思ふ。

現在「天塩の国会議」と言う会議が開催されてい

る。その中で、幌延町として提案していきたい。

**(佐々木委員)** 道路の維持管理で道道、国道における夏場の雑草処理などを町が委託できないか。

**(高田経済課長)** 基本的には道路管理者が管理責任を負う法律となっており、本町が受けている浜里下沼線などは特殊な事例。雑草の刈取りも過去に道路管理者と協議し町道との交差点付近に限定して草刈りを実施した。全線委託となると非常に難しい話と思ふ。

**(野々村委員)** 町の基幹産業である酪農業向けの農業振興策として、特定財源としての基金創設を考へてはどうか。

**(西尾副町長)** 現在、農協が進めているコントラクター事業等の設立整備を支援したいと考へている。

農業関係については色々な支援事業があるので、今後とも独自の基金を創設しなくても対応が出来るのではと考へているが、その都度対応していく。

## 報 常任委員会 告

### 第5回産業厚生常任委員会

9月3日

#### ◎調査事項

#### (1)トナカイ観光牧場経営の経過報告について

平成21年11月のトナカイ観光牧場に関する議会提言を受けて、これまでの取り組みや集客状況の報告があった。

**問** 観光施設として、手を入れれば見てもらえるものになると考へている。経済的事情もあるが、長期的な視野での取り組みが必要と考へる。町として

の考へを伺いたい。人に見せられるものについては、まだ伸びる可能性があるかと理解している。総合計画や自律プランの考へ方に基づいて、継続的にやっていきたいと考へている。

**答** 観光に資するイベントを、豊富町と一緒にできないか。影響を与え合う者同志、トップ会談をしたらどうか。

**問** 豊富町とは、道外への観光PRも一緒に行なうという話はしているし、民間も含めて協議をしていく必要があると考へている。

**答** 豊富町とは、道外への観光PRも一緒に行なうという話はしているし、民間も含めて協議をしていく必要があると考へている。

(2)上・下水道料金の徴収方法の変更について

新システム導入に伴い、上・下水道料金の徴収方法を分かり易くするため、基本料金・超過料金とも実績に基づいて徴収することにした。

**問** 予算上一ヶ月基本料金がなくなるが、どう対応するのか。

**答** 水道で約30万、下水道で約100万が減収になるが、水道の方は今年度の予算の範囲で対応できると考へている。下水道の方も対応可能と考へているが、できなければ12月の補正予算で対応していきたいと考へている。

## 議会の動き

7月24日～26日 ▶ 各種期成会夏季合同要望会 (東京都)

8月2日 ▶ 第5回総務文教常任委員会

8月19日～20日 ▶ 議会広報研修会 (札幌市)

8月28日 ▶ 西天北五町衛生施設組合議会

8月30日 ▶ 第6回総務文教常任委員会

9月3日 ▶ 第6回議会運営委員会

9月3日 ▶ 第7回総務文教常任委員会

9月3日 ▶ 第5回産業厚生常任委員会

9月3日 ▶ 第5回全員協議会

9月9日 ▶ 第7回議会運営委員会

9月11日～12日 ▶ 第5回定例会

9月24日 ▶ 第44回議会報発行特別委員会

10月1日 ▶ 第45回議会報発行特別委員会

10月4日 ▶ 第8回総務文教常任委員会

10月4日 ▶ 幌延福祉会と町議会議員の懇談会

10月16日 ▶ 第46回議会報発行特別委員会



## 特別会計

### 〈町立診療所会計〉

(無量谷委員) 夜勤は一ヶ月間で、どの位の頻度で交替しているのか。

(宮古事務長) 昨年暮れに看護師が辞めて、ずっと2名欠員だったため、この時は8〜9回夜勤だった。今年に入って、7月1名、9月に臨時看護師2名増えた。今のところ7回くらいの夜勤になっている。

(鷺見委員) 不採算病院の国の補助金はどうなっているのか。

(宮古事務長) 診療所についても普通交付税と特別交付税で交付税算入されている。経過措置の5年間は1億3千6百万円。

(鷺見委員) 5年後はどうなるのか。

(飯田会計課長) 3千2百万円程減ってくるのかと思う。

(鷺見委員) 一診療所につきどれくらいお金が出るのか。

(飯田会計課長) 一ヶ所7百10万円。幌延町立診療所、歯科診療所、問寒別の3ヶ

所で2千百30万円。

### 〈国民健康保険会計〉

(斉賀委員) 療養給付費は、一件当りどのくらいか。前年度と比べてどうか。

(鈴木町民課長) 一人当りの給付費は22万5千9百19円。

(斉賀委員) 滞納繰越分があるが、どういう対策を取っているのか。収納率を上げようとしてどう対処しているのか。

(伊藤主査) 収納対策としては、督促状の送付や電話、文書、個別訪問による催告、納税相談などを強化している。

### 〈後期高齢者医療会計〉

(鷺見委員) 北海道広域連合と一つなので、幌延町の給付金も急激に上がっているが、要因は何か。

(鈴木町民課長) 平成24年度に値上げになったため。人口規模、それと療養給付

については給付実績等が反映されている。必ずしも高額の負担を求められているとは思わない。

### 〈介護保険会計〉

(佐々木委員) 国が新しい介護認定基準を作っている。入所施設を利用するには、介護度3以上でなければ認められないように決定している。幌延町の場合はどうか。

(鈴木町民課長) 介護保険制度の見直しが提言されている。わが町には、3に満たない入所者がいるのが実態だ。

(佐々木委員) 町独自で入所基準を作ることできるか。

(鈴木町民課長) 国の規準を無視して決定することは困難だ。入所できなくなるかと考えている。

## 社会福祉法人 幌延福祉会 との懇談会

10月4日役場会議室において社会福祉法人幌延福祉会理事長以下役員との懇談会を行なった。

議会から鷺見議員会長、野々村議長が挨拶、幌延福祉会から山本理事長の挨拶があり、続いて小西理事より、こざくら荘の現況報告と今後の課題、北星園の現況などの説明があり、議会との意見交換が行われた。

特にこざくら荘の運営に関して、現状の40名規模での施設運営では平成26年度では1千万円程度の赤字が出る旨の報告に、議員からの意見が集中し、今後、幌延町福祉計画の中で、その対応策が審議されていく。

地方の市町村での介護保険料の在り方が議論を呼んでいるときでもあり、



参加議員からもかなり厳しい意見が出ていた。

北星園も障害者支援施設として昭和49年9月に入所者70名でスタートし、40年の月日がたつて利用者の平均年齢も60歳とのこと。利用者の高齢化が進む中、農産物販売などでご苦労されているが、経営自体は、安定している。

職員の補充確保が今後の課題と話す。

**質問** 市立稚内病院の内科医の減少により、平日夜間、土日・祝日の市外からの救急搬送は受け入れてもらえなくなりました。この現状をどう考えているか。また、町民に周知する必要があると考えるか。

**町長** 宗谷医療圏唯一の総合病院であり、2次救急病院として重要な役割を担っており、大変困ったことだと思っっている。また、周知については、医師の判断で救急搬送先を決めていることや、内科の救急搬送は年1、2回と極めて少ないことなどを勘案して、周知しなかった。

**質問** 実例として名寄市立総合病院に搬送されているが、患者・家族の負担が増え、救急車の不在時間が長くなり、町民のリスクが高くなると考えるか。

**町長** 患者・家族の負担は指摘のとおりだが、救急車については、消防の高規格救急車が搬送中でも、診療所の救急車で対応できるので安心していただきたい。

**質問** 今回の件が常態化するのではないか不安がある。稚内市の今後の考えを町は把握しているか。

**町長** 今回の件は、市立稚内病院へ医師を派遣している大学病院の医局員の減少によるものとのことであり、今後も派遣要請を続け、医師の確保に努力を重ねる所存だと伺っている。

**質問** 稚内市に対し、他の自治体と連携を図りながら安心して地域に定住できる診療体制を実現するように申し入れすべきと考えるか。

**町長** 自治体病院等広域化・連携検討会議がまとめた宗谷地域行動計画の中で、市立稚内病院を中心とした2次救急医療体制の確保と強化がうたわれているので、管内の他の町村と連携し、稚内市に対しての要請を検討したいと考えている。

**質問** 1次医療及び2次医療の役割や負担軽減を考え、救急医療の適切な利用の啓発に力を入れるべきと考えるか。

**町長** 救急医療の利用に対する啓発は大事なことと考えている。診療所では、町の広報紙で広報しているほか、告知端末機でもお知らせしているが、今後とも啓発を行っていききたいと思っている。

**質問** テレビ北海道の開局に向けての協議とは、宗谷圏域共同でアンテナを建てる話し合いを行うということか。

**町長** まだ各関係市町村で合意ができていない。知駒の方にアンテナを設置するのと宗谷圏域がカバーできるので、定住自立圏の協定の中で進めて行こうという動きがあるが、決まった話ではない。

### 原子力機構の「改革」とは具体的に何か



鷲見 悟

### 地域の課題をとらえて 2氏が一般質問



### 宗谷定住自立圏（医療連携区域）共生ビジョンについて

**Q** 宗谷定住自立圏で進められていることは。

**A** 本年度は、テレビ北海道開局に向けての協議などの検討を行っている。

西澤 裕之

**質問** 北海道新聞から「原子力負の遺産、核のごみから放射能汚染まで」と題する本が出版されたが、町長はどう思うか。

**町長** 読んでいないので、回答できない。

**質問** 幌延と瑞浪の統合案やどちらか一つにする話が出てきているが、どうなっているのか。

**総務課長** もんじゅの点検漏れやJパークでの放射能の漏えい事故等があり、社会的な信用を落としてきた。文部科学省は機構改革本部を設置して抜本的改革を検討している。高レベル放射性廃棄物の処理処分研究開発の位置付けは、研究成果を遅くとも平成40年頃までにNUMOに移行していくと考えている。

**質問** 原子力機構として、自分達の改革案を示した後に国の最終結論が出るという理解して良いのか。

**総務課長** そうだと思う。

**質問** 原子力機構の固定資産税はどうなっているのか。

**会計課長** 申告されたものを受け取っている。

**質問** どういう計算方式になるか。

**会計課長** 取得価格に1.4%を乗じたものが、固定資産税相当額となる。

**質問** 取得価格とは、工事費とそれに関連した経費を言うのか。

**会計課長** 掘削工事費や設備の維持費といった費用。

**質問** 農道の舗装率が他町村から見ても低いと思うが、農道を町道に格上げしている。他町村のことはわからないが、計画を持って進めて行く。問寒別の方では営農用水、上幌・開進でも営農用水を統合するための調査を行なっている。道路の修理も多く出て来ている。

**質問** 農地防災だが、3年間調査と言っているが、具体的にどう考えているのか。

**町長** 農地防災については、幌延町の永い懸案事項だ。幌延町ではかん排事業が終わらなければ、重複して進めなかった。民主党政権の時に予算が大幅にカットされて、防災事業がむずかしい状況だった。来年度から地区調査が始まる。地区は下沼から開進地区までで、総面積は2千7百haになる。

# 常任委員会 報告

## 第6回総務文教常任委員会

9月3日

### ①職員住宅の建設

・町内において入居可能アパートは73戸あるが、その内71戸が入居状態。  
・来年度以降の職員採用を考えると、大幅に不足することが予想される。

・計画場所は、中央保育所横。1棟12戸2階建。  
問 定住して過ごせるよう持ち家対策も必要でないのか。

答 対策については、町の分譲が1軒分ある。また持ち家住宅対策で定住者の話になると、町民全般的な話になる。

問 ここは危険箇所ではなかったのか。安全基準はどうなっているのか。

答 建物面積も狭く、山から遠くなる。傾斜も30度未満で、危険の影響はないと結論した。今後、地盤強度も調査して最終判断する。

問 いつ入居可能となるのか。

か。

答 来年秋入居可能の計画。

### ②自治体ネットワーク用パソコン更新

・基本ソフトのウィンドウズXPのサポート終了に対応するための計画。  
・来年4月から消費税率も上がるため、パソコン本体65台分更新を今年度中に前倒して実施したい。

問 今現在使われているものの処分は経費かからないのか。それとも買い取ってもらうのか。

答 交渉になるが、場合により処分料がかかる可能性もある。

問 今後の入れ替えも、このように一括購入という大きなものになると考えるか。

答 耐用年数5年くらいで、5年に1回ずつ一括更新か、財源がなければ3年に分けて更新するなど考える。

### ③再生可能エネルギー・省エネルギー施策の執行状況

・町が本年度実施した施策の8月30日現在の執行状況の報告である。  
・太陽光発電システム設置

補助金の執行状況は、申請者なし。  
・家庭用LED照明購入補助金の執行状況は、45件の申請があり、予算額1千万円に対し交付総額82万3千円である。

・町として、当該事業の広報、PRを一層促進し、施策の普及促進に取り組む。

問 太陽光の4kW上限を9.9kWに将来的に上げるべきでないか。

答 町の補助事業は、家庭の屋根、住宅敷地に設置することを想定していたが、申請のない理由が、上限が原因なら今後検討する。

### ④経済課元主査による詐欺事件報告

・昨年11月9日付けで元職員と札幌市会社役員を、詐欺として警察に告訴していたが、旭川地方検察庁は8月29日付けで不起訴処分とした。被疑者死亡による不起訴と、札幌市会社役員は起訴猶予処分、前歴もなく役員は従属的に従ったものであり、本人も反省し、更に既に全額を返還している等を考慮された。

## 秋のクリーン作戦

強い風が吹き抜ける中、町内の様々な団体や会社から、百名が参加した。始めに町長が挨拶をし、町内各路線へ向けて、バス2台で移動した。アキ缶やゴミくずなどをゴミ袋一杯に集めて、約一時間半町中を廻った。

例年のことながら、踏切の一時停止のところでのポイ捨てが多く、モラルの問題として、やめて欲しいものである。



## 編集にあたって

季節もすっかり秋の様相を見せ始め、冬ももうすぐという時期になりました。

寒暖のある季節を迎え、みなさま方はいかがお過ごしでしょうか。冬じたくやいろいろな準備で忙しいこととは思いますが、健康で風邪などをひかないようにご注意下さい。今年度は懸案であった「社会福祉法人幌延福祉会との懇談会」が10月4日に実現しました。民営化3年目の北星園とこざくら荘の実情を、聞く機会をえました。どちらも幌延町の社会福祉を担う施設として大きく大地に根づいてもらいたいと思えました。

編集委員長 鷲見 悟  
副編集委員長 斉賀 弘孝  
編集委員 吉原 哲男  
植村 敦